2018年度 春 要望調査票
青年海外協力隊 / 海外協力隊 / 日系社会青年海外協力隊 / 日系社会海外協力隊

要請番号（JL00618A04）

募集終了

国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
インドネシア	G153 音楽		個別	新規	2年	・2018/3・2018/4・2019/1

【配属機関概要】

1）受入省庁名（日本語）

内務省

2）配属機関名（日本語）

南スラウェシ州教育局

3）任地（ 南スラウェシ州マカッサル市 ） JICA事務所の所在地（ ジャカルタ首都特別州 ）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（ 飛行機+車 で 約 3.0 時間 ）

4）配属機関の規模・事業内容

当国では、地方分権が進んでおり、各州毎に初等、中等、職業訓練等の教育に関する施策を策定している。配属先の年間予算は1億4,000万円。配属先は、州内の特別支援教育分野では、中心都市マカッサル市にある州立ブルロケン特別支援学校及び州立プンビナ特別支援学校の2校を管轄している。
ブルロケン特別支援学校は、生徒数約160名(小学校約100名、中学校約30名、高等学校約30名)
同校の生徒は一部貧困層の健常者も含まれている。
プンビナ特別支援学校は、生徒数約250名(小学校約140名、中学校約60名、高等学校約50名)。

【要請概要】

1）要請理由・背景

州内にはブルロケン特別支援学校及び州立プンビナ特別支援学校の2校があり、(1) 視覚障害児、(2) 言語聴覚障害児、(3) 知的障害児、(4) 身体障害児の4つのカテゴリーの障害児及び自閉症児を受け入れいる。
これらの2つの学校は、情操教育の一環として、音楽活動を取り入れており、障害を抱えた児童が音楽活動を通して、豊かな人間関係を構築することを目的としている。音楽の授業は、担当教員が行っているが専門的な教育は受けてはいない。このため、音楽の授業内容の充実を目的として、青年海外協力隊員(JV)の要請に至った。
(同配属先からは、本要請の他、自動車整備及び作業療法士JVも要請されている。)
JVは、2校の州立特別支援学校での活動が期待されているが、配属先の調整のもと、その他の教育機関を含め、州内の他の特別支援学校からの要請にも対応を依頼される可能性がある。

2）予定されている活動内容（以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます）

配属先と協議の上、州立ブルロケン特別支援学校及び州立プンビナ特別支援学校の2校を中心に、下記に関する指導、提言、支援が期待されている。
1.活動先同僚と共に児童・学生の情報収集を行い、音楽の授業に関する実施計画立案の支援。
2.活動先同僚と共に、児童・学生に対する音楽の指導。
3.活動先同僚と共に、個々の児童・学生の能力に合わせた音楽の指導内容及び使用楽器の選定。
4.既存の楽器を利用した新しい音楽の授業手法の紹介。
5.各校の教員を対象に科目としての音楽に関する講習会を開催し、教員の指導能力向上を支援。

3）隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

キーボード、ギター、ドラム等の楽器一式、音響セット、マイク

4）配属先同僚及び活動対象者

活動先同僚 ブルロケン特別支援学校 女性1名 30代 男性1名 30代 (学士)

プンビナ特別支援学校 女性1名 40代 男性1名 30代 (学士)
活動対象者 ブルロケン特別支援学校 20名 中・高 /知的・身体・視覚障害児
プンビナ特別支援学校 16名 小・中・高/知的・身体・視覚障害児

5）活動使用言語	6）生活使用言語	7）選考指定言語
インドネシア語	インドネシア語	

【資格条件等】

[免許]：（　　　　　）

[学歴]：（大卒）　備考：同僚とのバランス

[性別]：（　　　　　）　備考：

[経験]：（実務経験）2年以上　備考：実務に必要

[参考情報]：

・特別支援学校の実務経験者

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（熱帯雨林気候）　気温：（20～35℃位）

[電気]：（不安定）

[通信]：（インターネット可　　電話可）

[水道]：（不安定）

【特記事項】

インドネシア側の査証手続きの問題により、他国の同隊次より赴任時期が遅れる。インドネシア政府の方針で、自衛隊勤務経験者及び海外における軍歴保持者にはボランティアとしての査証が発行されないため、応募不可。

COPYRIGHT(C)1995-2015 JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY. ALL RIGHTS RESERVED.